

〔海況概要〕 (令和7年 8月14日～8月20日)

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、平年並みからやや高めでした。

〔漁況概要〕 (令和7年 8月14日～8月20日)

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり335kgの水揚げ（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり64kgの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.3トンの水揚げ（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり21kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、カマスなどが1日1統当たり105kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり228kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり83kgの水揚げ（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

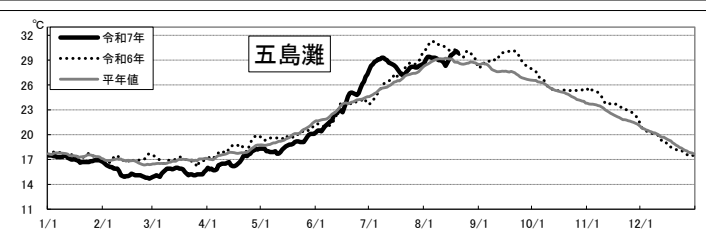
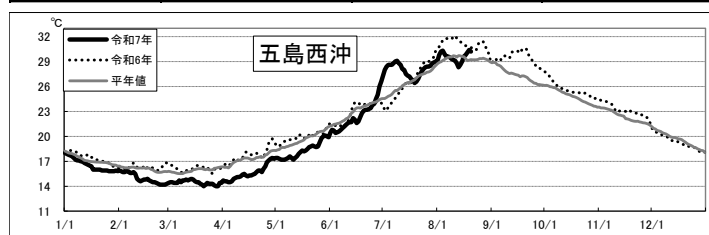
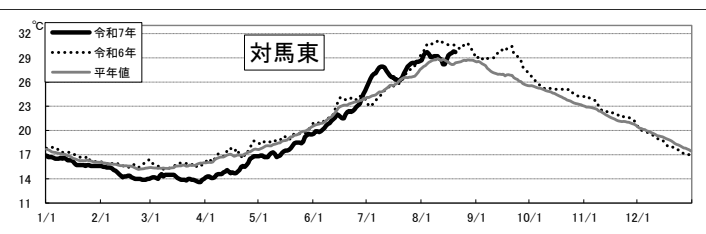
今期(8/9～8/19の11日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。沿岸イカ釣(氷蔵船)は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。鳥取県西部(沖合船)は、4日延8隻、総計479箱、1航海最高91箱、平均59.9箱。スルメイカ(20～40入)127箱、ケンサキイカ(2～4立)352箱の混獲となった。(漁業情報サービスセンターより)

〔海面水温情報〕 MGD SST (人工衛星水温) [気象庁発表] より

令和7年 8月14日 ～ 8月20日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	29.3℃	0.3℃	0.9℃
五島西沖	29.7℃	0.6℃	0.3℃
五島灘	29.6℃	0.7℃	0.6℃



※各定点は漁場図に示す（対馬東：A 五島西沖：B 五島灘：C）

※平年値は過去5年間の平均値。

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-14号 6県ケンサキイカ情報（令和7年度 第3号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>